



秋の体験学習（乙女校区子ども会育成会）

「甲佐町役場の位置に関する  
条例の一部改正について」を可決 ……②

町長の所信表明 ……③

そこが知りたいQ&A ……④⑤

一般質問は4人 ……⑥⑨  
ここが聞きたい ……⑥⑨

傍聴席から一言 ……⑩



9月定例会

# 「甲佐町役場の位置に関する条例の一部改正について」を可決

9月の定例会は、22日、24日及び25日と実質3日間の審議で行われました。宮本新町長から提出された平成14年度甲佐町一般会計ほか6会計の決算の認定や専決処分承認1件、条例案件2件、助役等人事案件2件、平成15年度一般会計等補正予算3件、以上の案件が一括上程されました。

懸案であった電子計算処理に関する事務の事務委託に関する協議や特別多数議決を要する役場の位置に関する条例の一部改正など慎重審議の結果、全て原案どおり可決しました。また、議員発議により、平成14年度各会計の決算を審査するため、決算審査特別委員会（定数6人）を設置しました。

## 条例等

○電子計算処理に関する事務の事務委託に関する協議  
現在、住民基本台帳をもとに税業務、福祉、財務会計と総合システムとして41の業務が電算化されている。合併後、両町を統一し、他機関とのやり取りを含めた業務全般の処理を確実、安全に住民サービスを低下させることなく提供する方法等を調査、分析する作業等を業者へ依頼するための

事務を御船町へ委託する規約の協議について全員一致で承認した。

報告等をはじめ慎重審議され原案どおり可決した。

## 決算審査を特別委員会へ付託

平成14年度一般会計ほか6会計

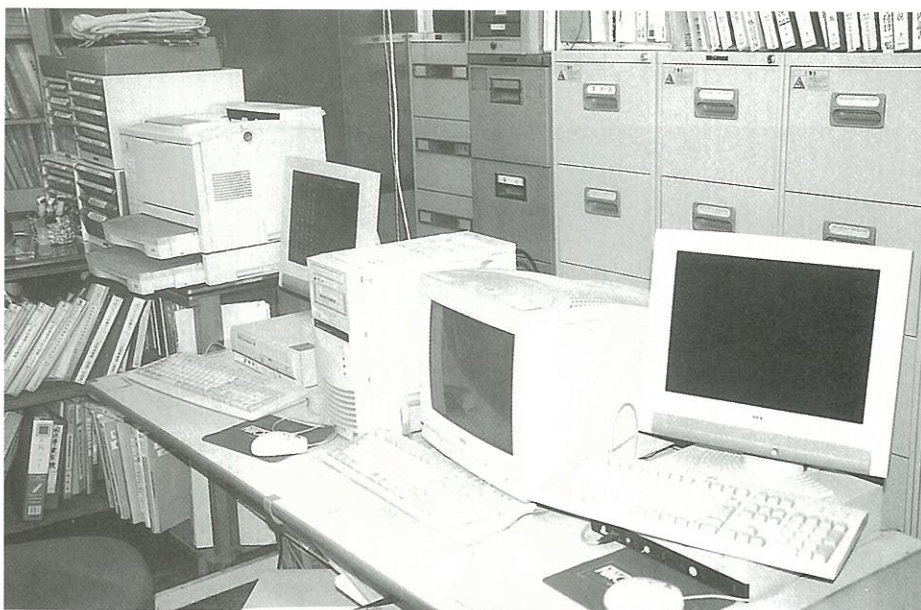
- 甲佐町役場の位置に関する条例の一部改正について  
6月定例会、第2回臨時会と上程されたが、諸般の事情を理由に審議前に撤回された議案であり、出席議員の3分の2以上の特別多数議決を必要とする案件である。  
当日の議事日程を変更し庁舎建築調査特別委員会（北畑委員長）からの中間
- 平成14年度甲佐町一般会計歳入歳出決算  
計歳入歳出決算
- 平成14年度甲佐町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 平成14年度甲佐町老人保健特別会計歳入歳出決算
- 平成14年度甲佐町介護保険特別会計歳入歳出決算
- 平成14年度甲佐町有線放送特別会計歳入歳出決算
- 平成14年度甲佐町水道事業会計決算
- 平成14年度甲佐町住宅新築資金等貸付特別会計歳入歳出決算
- 平成14年度甲佐町水道事業会計決算

## 人事関係

住所 大字岩下107番地  
生年月日 昭和11年6月16日

### 甲佐町助役の選任

宮本町長を支える助役に元総務課長など歴任されている吉本甲子雄氏を選任することに同意しました。



役場のコンピュータシステム（住民生活課）



本板谷の災害現場

## 専決処分の承認

平成15年6月24日に来襲した台風9号により、六谷、坂谷線の本坂谷地内で道路のり面が崩壊し、通行不能となったため一般会計に財政調整基金から約84万円災害復旧費として増額補正を行い、通行を確保するための応急工事を実施したとの報告を受け、原案どおり承認した。

## 町長の所信表明から



政策目標として「きらきら輝く町づくり・人づくり、住む人みんなが主役の町へ」を掲げ、その実現に向けて三つの基本政策を考えている。1つ目は、町村合併の推進をはかるが、本町が衰退しないよう、また歴史や伝統文化を守り、自然を活かした新しい町づくりと子ども達の未来のため均衡ある地域の発展と活力ある町づくりの基礎のため新庁舎及び生涯学習センターの建設を実現する。2つ目は、誇れる町づくりの推進であり、他の市町村から見えて「本当に良いところですね」といわれる町づくりの実現に努める。そのためには緑川観光交流拠点施設の整備、地場産業の育成、農産品のブランド化、地産地

消の推進、アクセス道路の整備と生活環境の整備、そして人口増対策による町の活性化のため企業誘致と住宅誘致を推進する。また、健康で安心の町づくりと少子化対策として「子ども達が健やかに育つ町づくり」、いわゆる健康と福祉の町づくりを推進する。3つ目は、きらりと輝く学びの里づくりであり、人づくりの推進である。教育委員会と連携し、文教の町を目指す。学校教育の充実のため学力向上対策、個性豊かな、心豊かな人づくりの実践、また、生涯学習の各部門ごとの充実に努める。以上、町政を担当するにあたって基本政策であり、所信表明とする。

甲佐町固定資産評価審査委員の選任

任期満了により、新たに園田収多氏を選任することに同意しました。

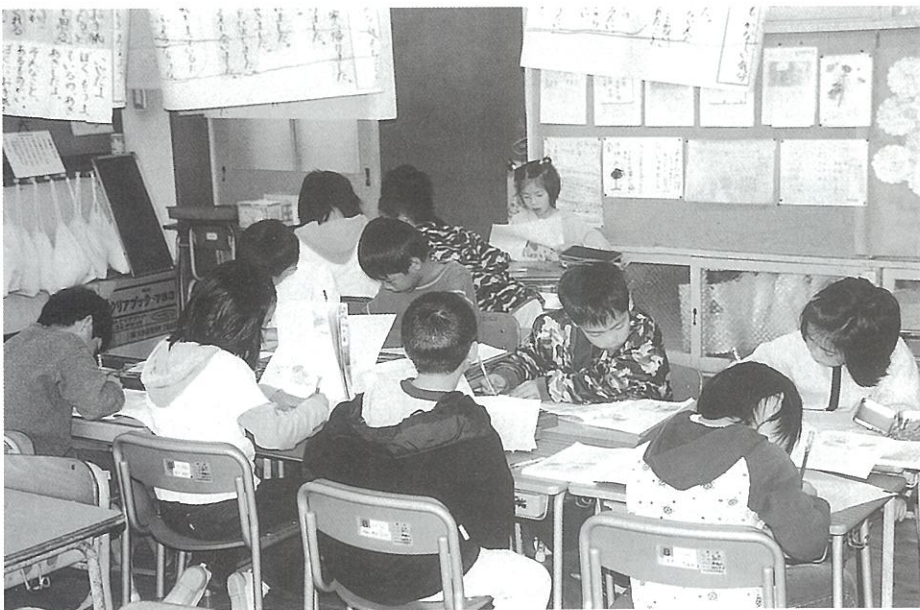
任期は、平成15年10月1日から平成18年9月30日までの3年間で。

住所

大字上早川1669番地

生年月日

昭和7年9月22日



学校での学習風景

# そこが知りたい

# Q & A

# 論点

## 安津橋上流河川占 用申請のため測量 の委託

**Q** 今回ふるさと創生事業費の予算として委託料が計上されたが、どういう内容のものか。

**A** 安津橋上流左岸の整備を緑川リバーサイドパークイン甲佐構想や町の総合計画に基づき整備する計画を持っている。構想としては、上流にマウンテンバイクのトライアルコースやファミリー広場、自然学習園などを位置づけているが、PTA等からは、サッカー場や総合グラウンド等の要望もあっており、まずは河川占用許可申請のための測量を行い、住民が一番利用しやすい整備の方法等意見を聞きながら具体的に進めていきたい。今回は測量の委託料を予算化したものである。

## 財政節減で職員が 草刈

**Q**

町の河川公園施設の草刈を町職員が行っているようだが、それに費やす職員の単位費用や事務の支障に伴う住民サービスの低下を考えると、シルバー人材センターや業者へ委託する等の方法をとった方が良く考えるが町当局の考えは

**A**

職員の旅費・日当等をカットするなど財政節減を考え少しでも管理費を節約しようということで、勤務時間中、その日の業務にあまり支障のない人を中心に協力してもらっているが、試算してみても、また職員の勤務状況等十分調査し住民に迷惑がからない方法を今後検討したい。

## 河川の管理運営に ついて、今後研究

**Q**

河川公園の維持管理費には経費が伴う。乙女河原にしても利用者数が多いが利用料は取れない状況である。数年前久留米の筑後川河川敷整備について研修したが、そこではミニゴルフ、テニスコート等の施設があり、年間1億5000万円の収入をあげ、運営費の不足分を町が補てんするリバーサイド管理公社を設立し、運営されている。本町においても検討されてはいかがか。

**A**

久留米の河川公園施設は大都市を控えて利用者も多いが本町でも今のままの方法は考え直すべきだと思っっている。管理公社等今後研究したい。

## グラウンドゴルフ 場に夜間照明

**Q**

グリーンパルグラウンドゴルフ場は、夏場は日陰もなく日中暑いので夏場だけでも夜間照明ができないかという声を聞く。高齢者のことを考え取り組めないものか。

**A**

夜間照明については、住民の意向を聞き、国土交通省の緑川河川事務所とも協議し、関係各課との合議をふまえ教育委員会のほうで検討したい。



測量が行われる安津橋の上流

### グラウンドゴルフ場の増設と中学校のグラウンドの増設

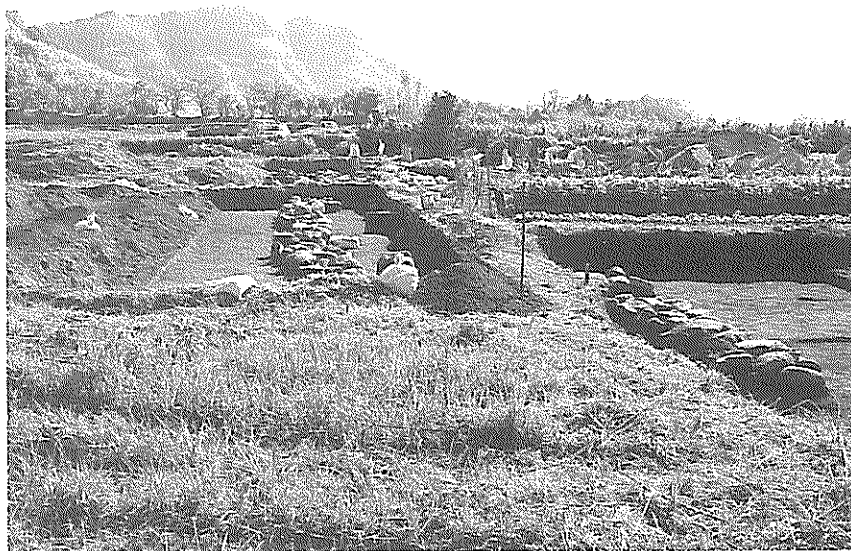
Q

グリーンパルグラウンドゴルフ場も増設し、公認コースとなればいろんな大会等が開催されてこれまで以上の賑わいをみせると思うがいかがか。また、現在中学校はグラウンドが狭くあらゆる種目の部活動に迷惑をかけている。そのようなことから小学校から高校までサッカーが楽しめるようなコートを緑川上流に計画してはどうか。

A

当グラウンドゴルフ場は現在3コース24ホールで運営されている。コースと管理等の間に2コースできる残地はあるが、整備は平成17年度以降ということで内部協議が進んでいる。

また、中学校のグラウンドは競技するのに十分な広さが取れないが生徒は頑張って素晴らしい成績を上げている。広い場所でき



試掘が始まった免の山

### 免の山の発掘調査

Q

免の山の発掘調査が行われているが、進捗状況は、いかがか。

れば生徒は幸せだと思いはしている。

A

昨年から調査をはじめ、現在草木の伐採を終えて、平面測量を行っている。平面測量が終われば試掘を行うこととなる。

### 用地交渉は、不動産鑑定士の評価を参考

Q

岩下、益城橋線がまだ国道まで開通していないが、農協の選果場の用地交渉はき然とした対応をすべきではないか。

A

われわれが鑑定した評価額だけではなく、不動産鑑定士の鑑定評価額をも参考にして、用地交渉が続いている。

### 新市の建設計画

Q

合併後の建設計画の中に、総合体育館やカルチャーセンター等御船にあつて甲佐にない施設の建設計画はできないか。

A

新市の建設計画の中、また合併特例債の中でそういった施設が認められるかどうか御船と協議の中で論議していきたい。

### 多目的広場から新庁舎への用途変更申請を

Q

庁舎の位置についての条例改正は、6月議会や臨時会で執行部の取り下げによって審議ができなかった経緯がある。林野庁への用途変更の申請など十分説明を行うようお願いしたい。

A

森林管理局へは、庁舎移転の条例が議決されればその議決書を添付し、多目的運動広場から新庁舎への用途変更の申請をしたい。



建設が待たれる庁舎用地



# 一般質問と答弁

山口照雄 議員

## 社会福祉協議会の運営は、定款違反ではないか

山口

聞くところによれば、社会福祉協議会では今年の5月、予算に計上せずに、また、事前に理事会の了解を得ずに、しかも見積競争入札をもしないで、お金が余ったからとの理由で八代市の業者から軽自動車2、3台が購入されている。職員採用にあたっては、内部規程がなく、会長の面接で採用されている。他にも

例えば評議員でも定款によれば関連分野団体、関連行政関係、福祉課、教育関係課などから1人評議員を出すとなっているがそのようにはなされていない。理事の選び方でもおかしい。また、定款に対する細則の条項が間違っていて記載されているなど定款違反がはなはだしい。どのように対処されるのか。

宮本町長

具体的な中身は見えていないが、話は聞いている。車

の購入については、予算を組む段階で事前に理事会へ諮るべきだったと思う。また、評議員等の選出について定款に書いてあるならば、その範囲内で選ぶのが筋で、定款は守るべきだと思う。ご指摘の定款と細則の違いについては早く修正し、正しい社協の定款、細則に切り換えるべきであると思う。



新たに購入された軽自動車

山口

補助団体だから町長の方で調査をお願いし、次の議会で報告をお願いしたい。また、町は1千何百万もの補助金を出しているが、き

れいになるまでストップすることについてはどう思うか。

町長

次の議会でも質問があると思うが、行政部局から指導に入り、修正すべきところは修正し、定款・細則にも整備し、適正な社協の運営ができるようにしたい。検討する間は、一時支払は待ってもらうことになるだろうと思う。

## 発想の転換で老人ホームの民営化を

山口

現在老人ホームの職員の平均年齢とそれに対する平均支払額はいくらになっているか。

町長

平均年齢は54、38歳。平成14年度の決算で13名で約8、688万円。一人当りの平均支払額は約668万3、000円となっている。

山口

民間における福祉関係の給与は10万円台だと思う。このように町の施設として運営するから職員給与が民間より高くなる。もし民間で運営したとすれば平成14



老人ホームの調理風景

年度に一般財源として支出された約3,000万円が節減できることになる。財政厳しいおりなので民営化してはどうか。

宮本町長

老人ホーム設立当時は、職員の給料等の経費より国からの措置費が多く運営は楽だったが、年々給料等もあがり、経費も措置費よりはるかに多くなっている。

そのようなことから以前パート職員で対応したこともあるが、県の指導監査に

おいて「正規の職員での対応を」との指摘を受け、現在の態勢となっている。その結果、職員の年齢も50歳代となり給料も上がっている状況である。今後老人ホームや町立保育所についてどうするのか、行政改革のなかで検討すべき問題だと思ふ。

他、町村合併のなかで①

今後の同和問題の取り組みについて、②財政の現状と合併後のあり方についての質問が行われました。



緑川パーキングエリア

門内巧議員

乙女台地にインターチェンジを！

門内

現在、甲佐町と城南町にまたがって緑川パーキングエリアが設置されている。道路公団の民営化とか中央ではいろいろと課題となっているやに聞くが、インターチェンジを造ってはどうか。御船、松橋と近くはあるが、乙女台地の開発

に活力を与えるためには、インターチェンジが必要ではないか。嘉島町にもジャンクションができるような計画があるやに聞く。城南町の町長と協議されてはいかがか。  
宮本町長  
道路公団、確かに民営化の話まであっているが、公

最終処分場の建設は

門内

御船町・甲佐町衛生施設

組合は、産業廃棄物の処理に対し、発足当初施設内に野積みで対応してきたが、平成8年厚生省の共同命令により閉鎖となり、現在八代のクリーンアメニティに依頼して処理を行っている。しかし、これも平成17年で満杯により閉鎖されると聞く。そこで建設費の関係もあるので、広域的な利用等考慮し、建設場所等検討着手すべきと思うがいかがか。

宮本町長

前町長に引継ぎ、私が組合長となったが、最終処分場は、最大の課題だと思う。八代のクリーンアメニティに依頼しているが、平成17年10月までが期限となつている。その後のことをどうするのか。別の施設に依頼するのか。最終処分場を造るのか。造るとすればどのような規模で造るのかといったことは、十分検討していくべき大きな課題だと思つている。

門内

先般の町長選で無投票という形で町長に就任された。このことは、町民の信を得ての無投票という結果であつたと思う。私自身御船

新町長へ期待する

宮本町長

町との合併協議会が進められている中の新町長誕生でおおいに期待しており、前町長の政策も継承すべき点もあると思うが、町長自身のアイデンティティを發揮され、町政運営に臨んで欲しい。  
町政運営にあたっては、町の総合計画、実施計画を基本に継承すべきは継承し、また時代の流れに対応した運営を行いたい。

団自体、採算を考えた事業に取り組まれている。益城インターの事業が平成5年から10年にかけて行われたが113億5,700万円かかっている。空港など県民のための重要施設があるということと熊本、御船間の距離はそう遠くないができたということだが、そのために県行政が半分近い約53億、県の土地開発公社が約37億、道路公団が約12億、

残りの約11億を地元益城町が出したとのことである。ご質問のインターがあれば乙女台地、舞の原台地の開発に寄与すると思うが、はたして道路公団がどれくらいのお金を出すか。「造れというなら地元で出せ」とはならないだろうか。それらを含め、城南町の町長と話してみたい。



御船町・甲佐町衛生施設組合のごみストックヤード

北畑 常博 議員

甲佐ブランドづくりに対する  
新町長の意気込みは

北畑

町民が豊かになり初めて雇用が発生し、押しも押されぬ甲佐町になると信じて、昨年からは一般質問を行って、本町には、緑川の豊かな水、きれいな空気、自

然があるので、これらを基

本とした甲佐町ブランドづくりを立ち上げ、本町の豊かな町づくり合併前に行うべきだと思いが、いかがか。

町長は、町の職員として農業の区画整備事業をはじめ



農産物が並ぶ青空市場

め、いろんな事業を成し遂げられてこられたことは承知している。商工会あたりについても提言いただけると思う。全国に向け「甲佐町にはこんな品物があるぞ」「見ぎや来なっせ」と胸を張れる町づくりをすべきだと思ふ。町長の意気込みはいかがか。

宮本町長

交付税が30%ほど減額される厳しい財政状況の中で、合併前にやるべきことはやらなければとの思いで財政的立場も含め、検討したい。合併後の新市の建設計画を協議会の専門部会で立てなければならぬので、将来の町づくりは各課充分意見を交わし、立てていきたい。

農業については農産品のブランドをつくり、農業所得が上がるよう販売促進を図ることも大きな課題と思う。今後農・畜産が衰退しないようになんとか維持できるような体制をしていかなければと思っている。また、一番大きな問題は少子化の問題です。昭和30年の合併当初、年間に350人ほど生まれていた子どもが今70人台となっている。甲佐町は今後どうなるのかと非常に心配する。少子化対策についてもいろいろな面で考えていかなければならない。皆さんの意見を拝聴しながら活性化を図ってきたい。

雇用対策として公共施設を  
民間等への払い下げしては

北畑

今、町で一番大切なのは雇用対策ではないか。その意味からも老人ホームや幼稚園、また町営住宅を民間等へ払い下げてはどうか。例えば職員の賃金格差から新たな雇用が発生し、町

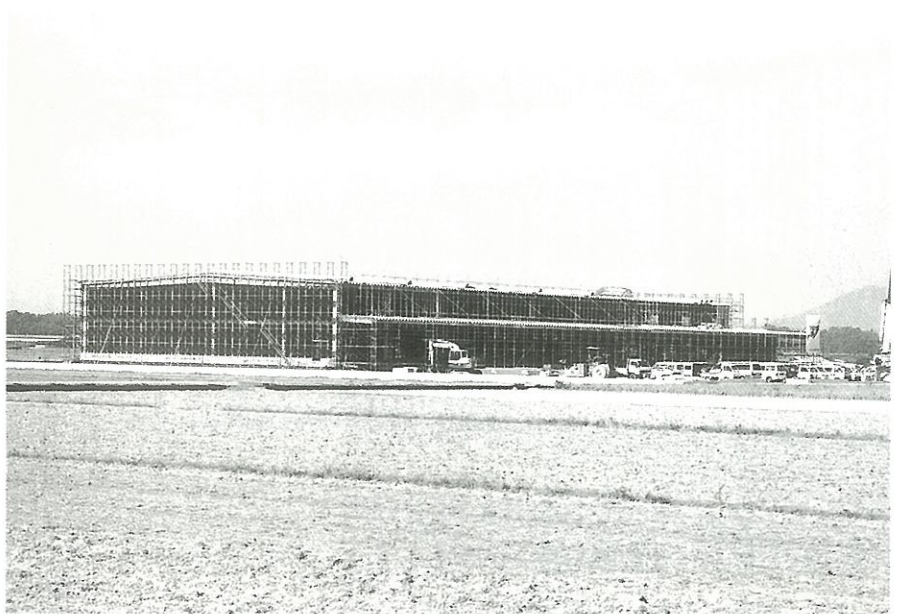
も活気づくのではないかと。町長の考えはいかがか。

最後に低事業費でできる水質浄化施設や子育て支援の一環として、府領、船津地区の児童の通学支援対策のため熊本バス利用補助制度の設立をお願いしたい。

宮本町長

企業の誘致、雇用確保、非常に大事な施策である。本町は、熊本市から30分圏内にあり、御船インターにも近い。住むところにして自然に恵まれ、良い町だと聞く。企業についても「熊本市からきたがインターにも近く、きてよかった」といった話を聞く。

公害のない企業をどんどん誘致し、活性化につなげたい。



建設が始まった(株)木村の物流倉庫及び管理棟



本田 新議員

合併は行財政改革を推進するために合理化を

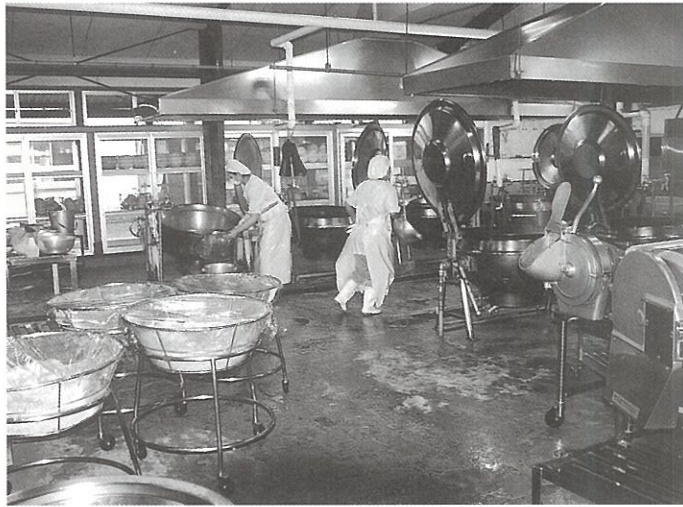
本田

御船との合併が進んでいるが、町長の手腕次第で甲佐の発展が左右される。法定協の中では、事務事業の調整、建設計画の策定、そして行政改革の推進と3本柱をもって合併後の将来像ができていく。この方針の中で、住民へのサービスは高く、負担を低くするのに

努めるといふ反面で、これまでの両町の制度が合理的かどうか検討し、場合によっては住民に負担を求めるとある。この二つの見方があるが、今後どの方向に動くのか町長の方針を尋ねる。

宮本町長

合併は財政的に厳しくなるから、せざるを得ないという



老朽化した給食センター

いふことで進行している。その中で、合併に向けての調整があつているが、両町の良いところばかりをとって、ということとは財政的に無理ということ、相反することが出てくる。今後法定協の中で調整していきたい。

本田

新市の建設計画の中で行財政改革の一つとして両町の給食センターを問題提起したい。御船町の給食施設は、各学校にある。甲佐町はセンター方式をとっており経費的にはかなりの節減になつていると思う。この観点から合併の合言葉は合理化だと思う。このように一つの例をとつても合理化が図られ経費節減となり、それが住民サービスへとなると思うが、町長の考えは。

宮本町長

合併し、統合した給食センターを造つたら合理的ではないかという考え方、確かに二つを一つになせば経費節減になるかと思う。検討課題ということで、今後法定協の中で意見を交わしていきたい。

減反政策は二つなる

本田

来年度から減反政策が変わると聞くが、どう変わるのか。

農政課長

本年度までは、転作面積の配分だったが、来年度からは生産数量の配分が変わる。

転作奨励金についても地域づくり交付金に変わり、町とJAの判断によって支給される。

今、政府の情報を仕入れながら水田農業ビジョンの計画を立てている。出来次第、農家の方に説明する。

本田

米作においては、産地間競争が進み、おいしい米産地は増産、そうでない地域は衰退する方向にいくのか。

農政課長

町とJAの間でタイアップして生産数量を決めるが、本年度と同じ生産数量になると思う。

今後の少子化対策は

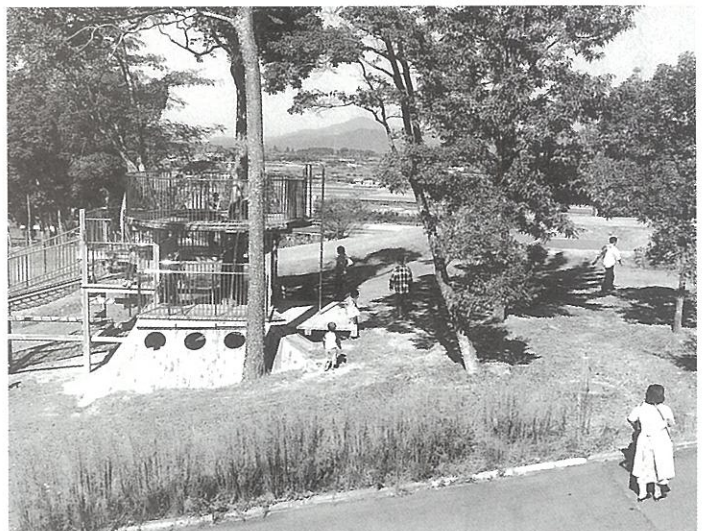
本田

前町長の時代ハード面の事業は整備され、福祉の充実へと進んできた。今後は、少子化対策、いわゆる子育て支援に向けての福祉中心へと転換する時代がきた。

エンゼルプランが策定されたので、今後確実に実行して欲しい。

宮本町長

子育て対策は、将来を見通したときに、一番重要な



望まれる子どもの遊び場

施策だと思っている。また地域ぐるみの体制づくりや遊び場の新・増設というような子ども夢プランにそって進めていきたい。

本田

子育て支援として保育料の低減など経済的支援を考えて欲しい。また、障害者福祉の充実、ノーマライゼーション社会への対応として広報、講演会等の活動を推進し、地域社会の理解を深めて欲しい。

傍聴席から一言

# 楽しい農のすすめ

大町 田上安幸



農作業の合間に旧友と道端で会った。私は手を止めればばらく話し込んだ。

先日、その友の父親の通夜に出席したばかりだった。話をするうちに、父親が亡くなって農業を続けようかどうか悩んでいると言っている。

楽しい家庭菜園



私は、「お母さんが元気なうちに農作業は覚えなせ。百姓はよかばい。自分で作ったもんば子供達に食わせてやんなせ美味かばい。一緒に土いじりすつと、又そるもよかけん。」という事でその場はしめくつた。確かに現在、農家が減少し、子供達が農作業を手伝う光景をあまり見なくなつた。

収入の減少からか。また農業の持つ土臭さからか。その原因は様々である。国は食料自給率45%を目標に掲げて数年が経つが、なかなかのびて来ないなか、せめて父、母が農作業する傍らで子供達が土いじりをし、又自らつくった農産物を使つての、自慢の手料理を家族で味わう。そんな光景を思い描く事も大事に思えて仕方がない。人は口から食物を取り入れてその養分で成長していく。もつとはつきり言えば、その養分でしか育たない。食物は人類にとって、必要不可欠である事を考慮す

## ちょっと一服

### 子ども

ドロシー・ロー・ポルト作



批判ばかりされた 子どもは  
 非難することを おぼえる  
 殴られて大きくなった 子どもは  
 力にたよることを おぼえる  
 笑いものにされた 子どもは  
 モのを言わずにいることを おぼえる  
 皮肉にさらされた 子どもは  
 鈍い良心の もちぬしとなる  
 しかし、激励をうけた 子どもは  
 自信を おぼえる  
 寛容にであつた 子どもは  
 忍耐を おぼえる  
 賞賛をうけた 子どもは  
 評価することを おぼえる  
 フェアプレイを経験した 子どもは  
 公正を おぼえる  
 友情を知る 子どもは  
 親切を おぼえる  
 安心を経験した 子どもは  
 信頼を おぼえる  
 可愛がられ 抱きしめられた 子どもは  
 世界中の愛情を 感じとることを おぼえる

れば、庭先にあるいはベランダに少しばかりの野菜を育てたり、又、営農に利用されなくなつて荒れた農地を楽しみたい人々に使つてもらえるような工夫をする。今日も乳しほりを楽しんでいる次第です。

## 編集後記

定例会ごとに発行している議会広報に目を通していただいていることに深く感謝申し上げます。今回は一般質問について説明をいたしますが、一般質問は主に町長の政策を問うことになっていきます。その質疑応答の内容を広報誌にのせる場合、前回までは広報委員が議事録をもとにまとめ、掲載していましたが、今回の広報誌から質問者自身が限られた字数のワク内で作成し、完成させる形となりました。この方法は、質問者の真意を明確にできるといふメリットはありますが、反面、主観が入りすぎ質問と答弁に食い違いがでてきて、読者の誤解を招くおそれがありますので、委員会としてチェックを行い、訂正すべき点があれば訂正したりして、一般質問のコーナーを編集しておりますことを紹介させていただきます。